

公共施設マネジメント 市民説明会

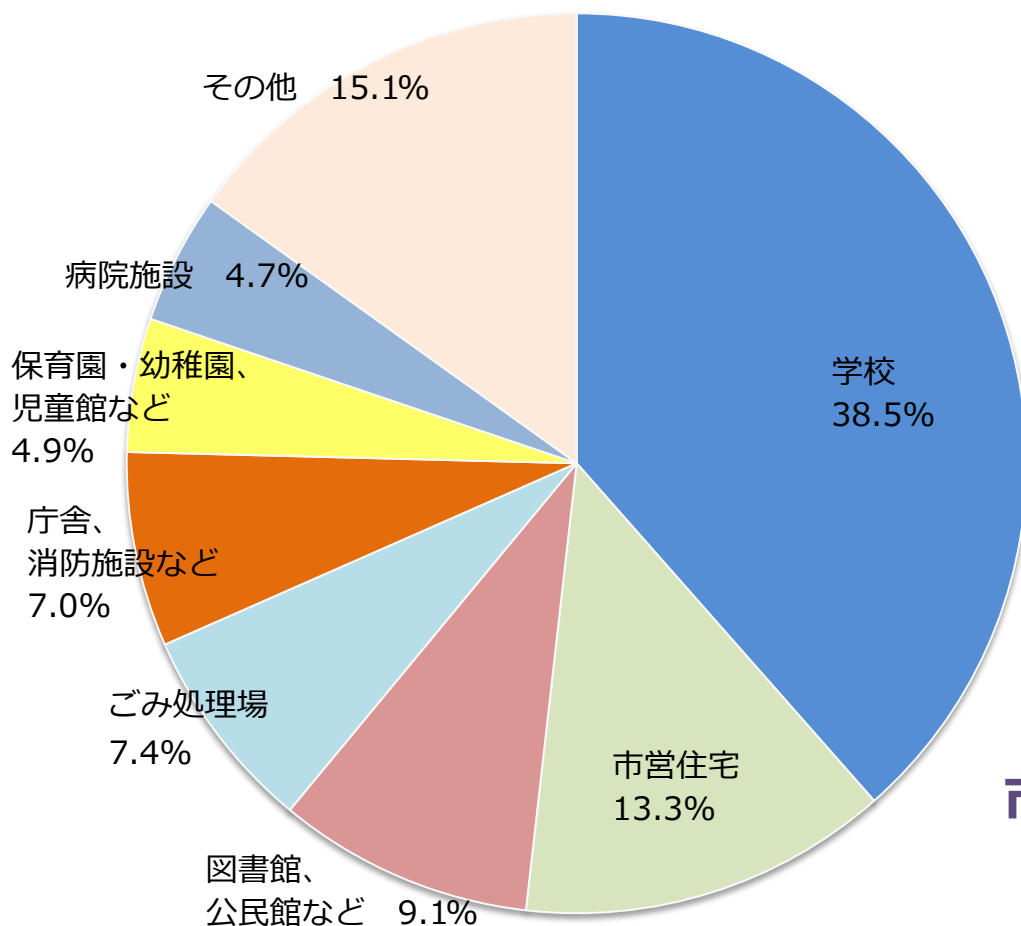


平成29年11月15日、19日、24日
多治見市役所 公共施設管理室

1. 市の公共施設の現状と課題

①全国平均より約2割多い公共施設

用途別の延床面積の割合



施設数

246 施設

延床面積

423,438 m²

※平成29年10月1日現在

《市民一人当たりの延床面積》

全国平均 … 3.22m²/人

多治見市 … 3.83m²/人

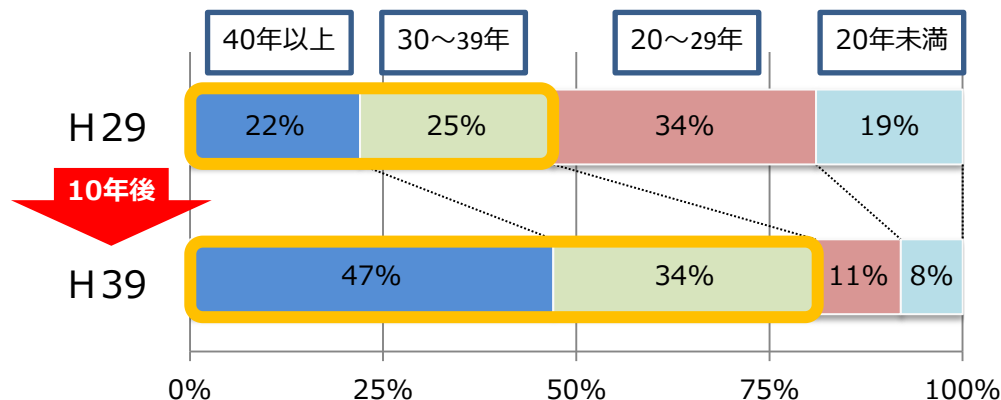


市民一人当たりの負担が大きい

1. 市の公共施設の現状と課題

②老朽化が進んでいます

完成からの経過年数の推移

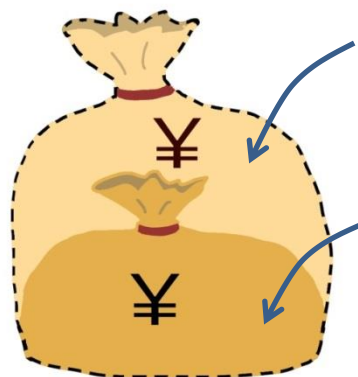


建設後30年以上経過する施設が
10年後には約8割にまで増加



建替えや大規模修繕が
必要となってきます

③全ての公共施設を同じ規模で維持・更新することは不可能



今ある施設を全て
維持・更新するために
必要な金額(試算)

=1年当たり
44億円

直近5年間で
施設の維持・更新に
支出した金額(実績)

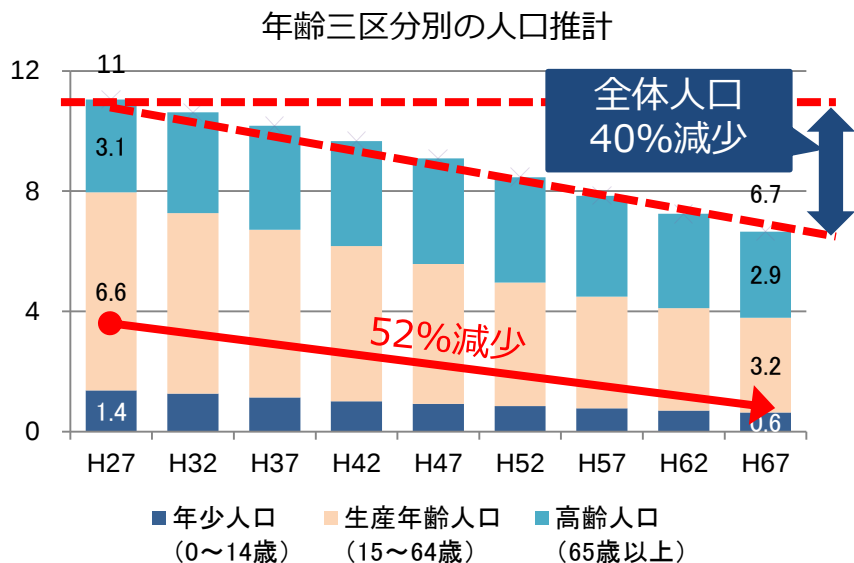
=1年当たり
22億円



全体の半分しか
維持・更新できません

1. 市の公共施設の現状と課題

④進む少子化・高齢化と増え続ける社会保障費



今後、公共施設の整備に使える費用は減少することが想定されます

公共施設を経営的な視点で維持・管理し、少ない経費で施設の効果をより上げていく取り組みが必要です

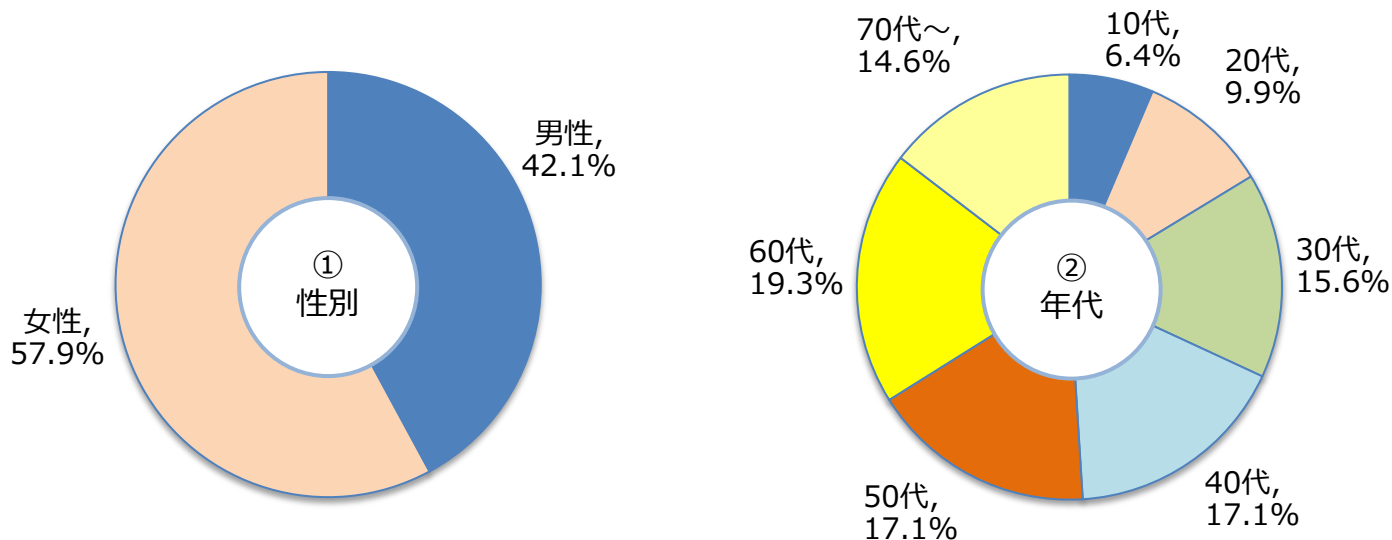
公共施設マネジメントを進めます

2. アンケート調査により分かったこと

公共施設マネジメントの進め方や方策について、アンケート調査を実施しました

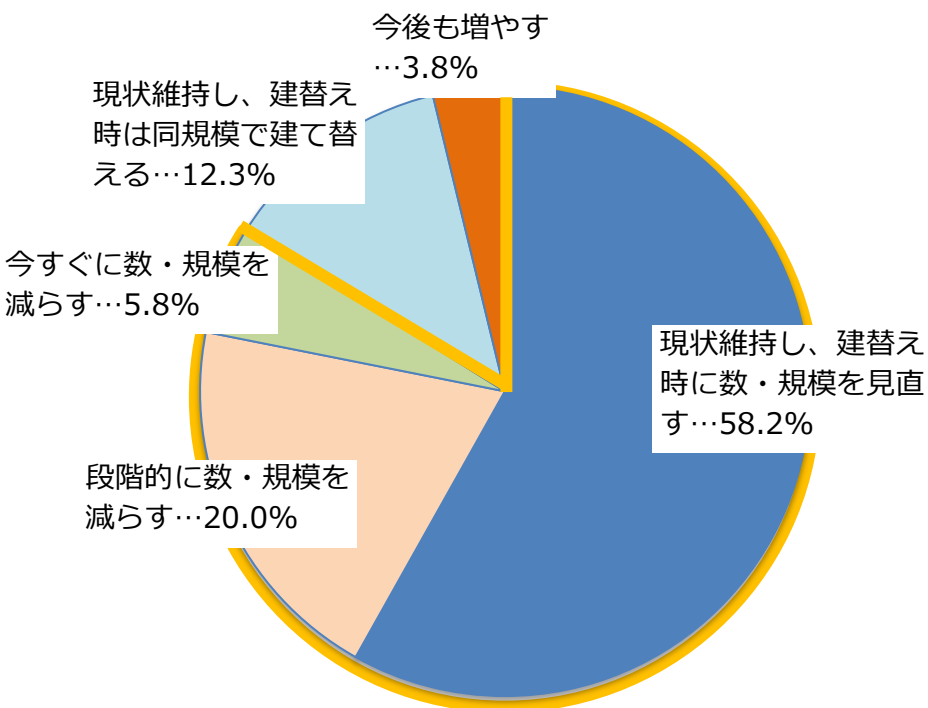
調査対象	市内在住の16歳以上の男女2,000人 ※住民基本台帳による無作為抽出法
調査時期	平成29年6月1日～6月30日
調査方法	郵送
有効回収（率）	833人（41.7%）

<回答者の属性>



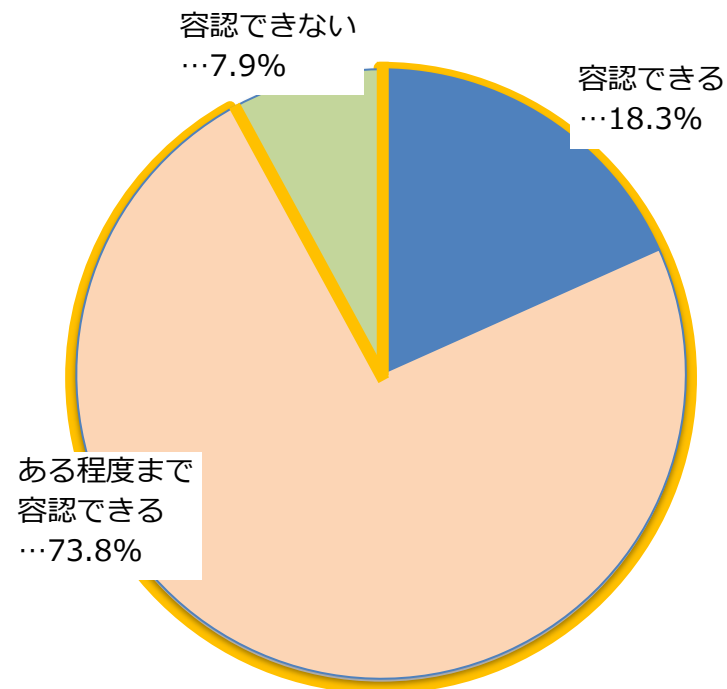
2. アンケート調査により分かったこと

(1) 公共施設の整備を今後どのように進めていくべきですか？



➡ 「見直す、減らす」と回答した人が8割以上

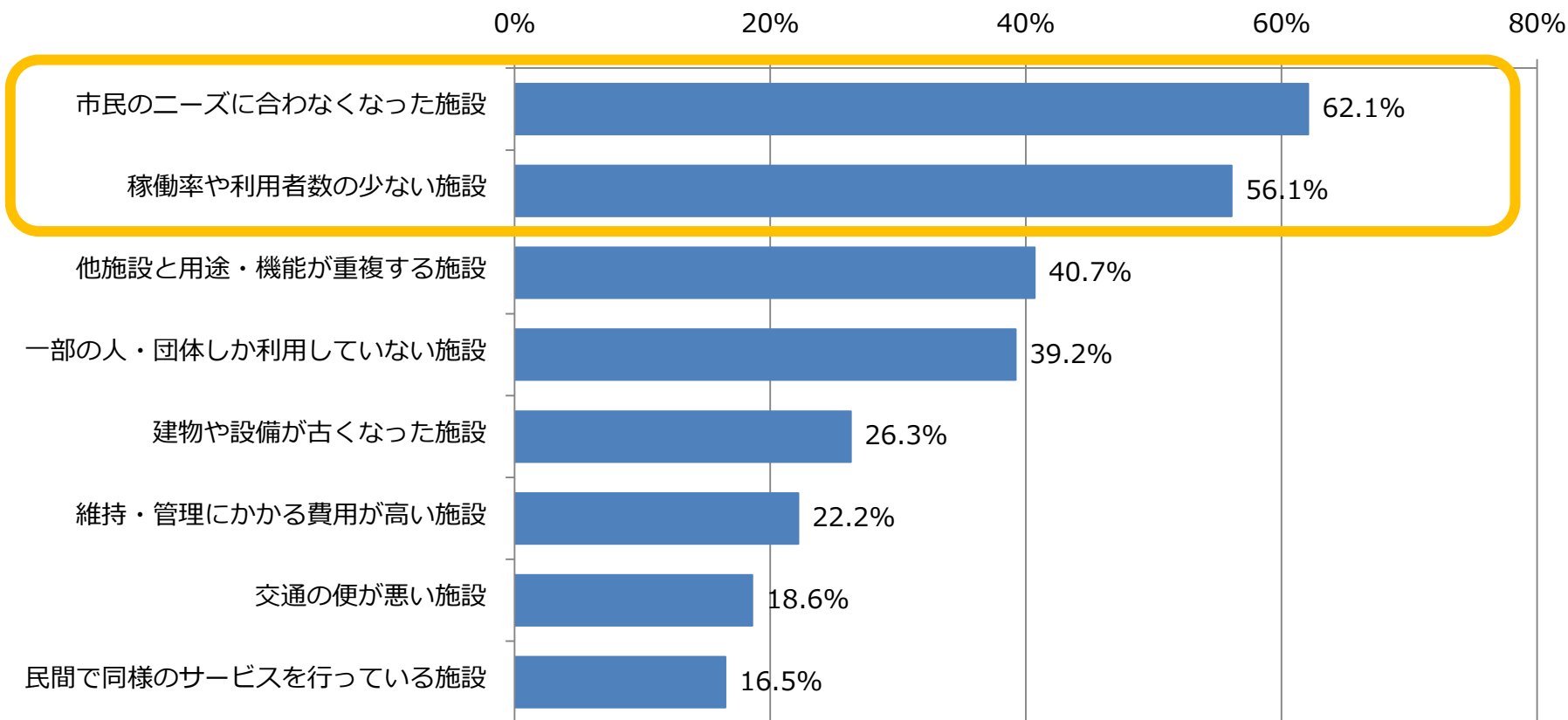
(2) マネジメントを進めることによる施設の利用停止や使用料の値上げを容認できますか？



➡ 「容認できる、ある程度容認できる」と回答した人が9割以上

2. アンケート調査により分かったこと

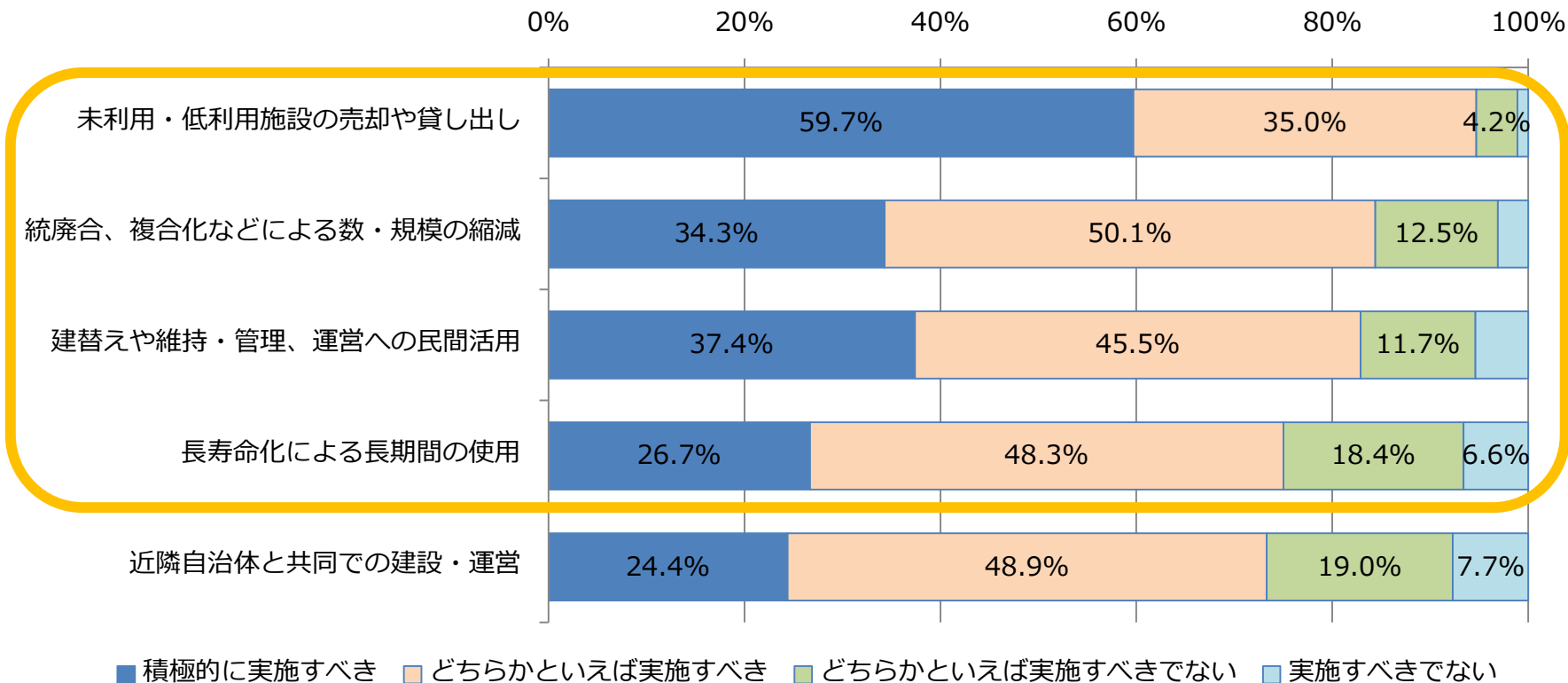
(3) 数や規模を減らしてもよいのはどんな施設ですか？ ※複数回答



市民のニーズに合わなくなった施設、稼働率・利用者数が少ない施設は減らしてもよい、と回答した人が半数以上

2. アンケート調査により分かったこと

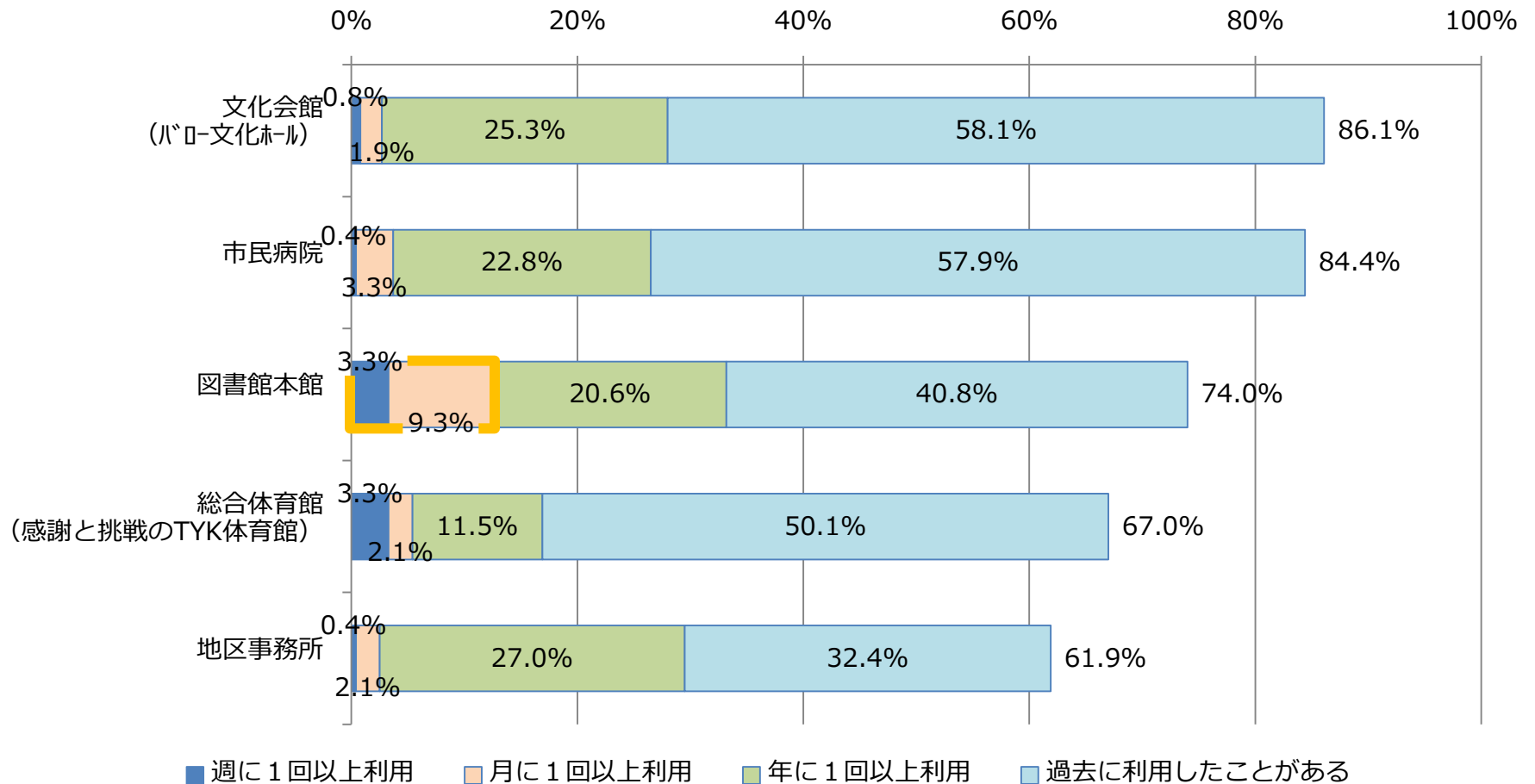
(4) 施設を適切に管理するための対策についてどのように考えますか？



今ある施設の効率的な利活用を求める回答が多くありました

2. アンケート調査により分かったこと

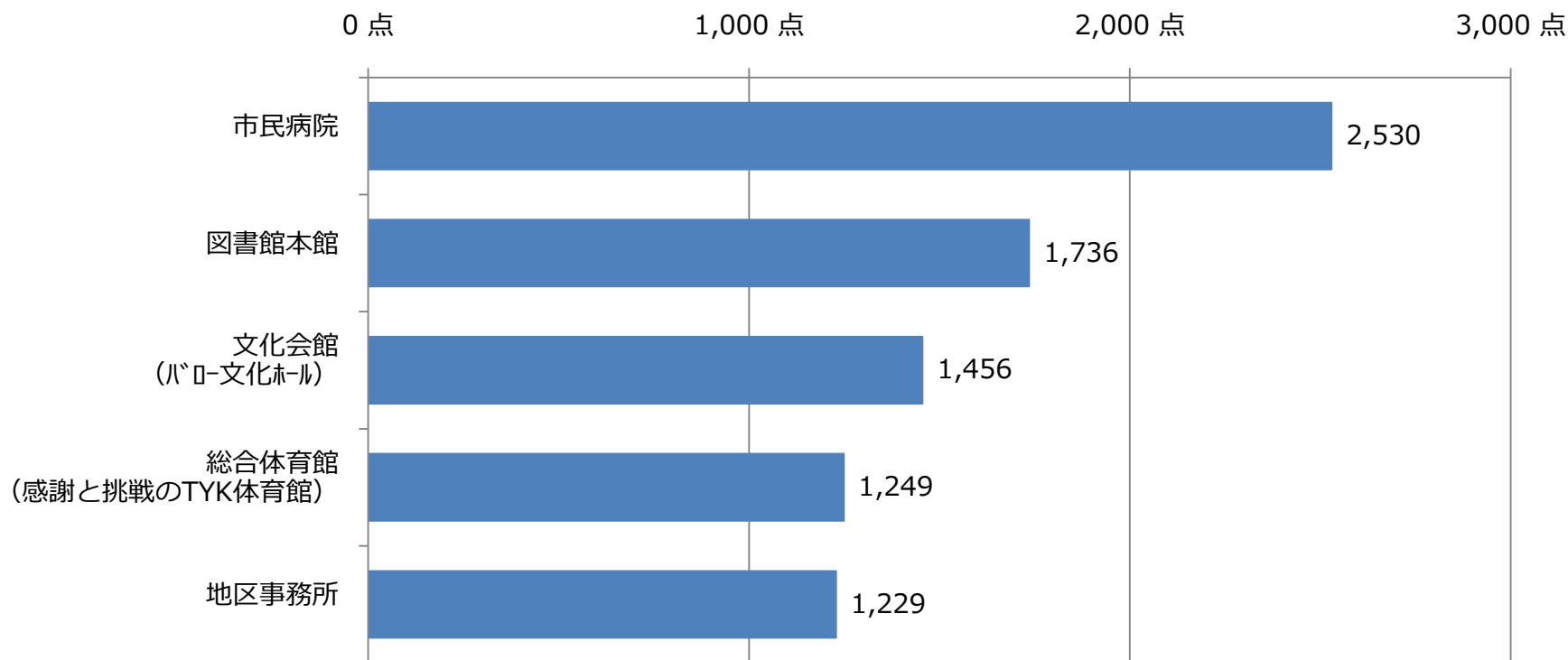
(5) 公共施設の利用状況 (全41施設のうち上位5位を抜粋)



2. アンケート調査により分かったこと

(6) 優先的に維持するべきと考える施設 (全41施設のうち上位5位を抜粋)

※優先する順に1位～5位を選択。1位＝5点、2位＝4点・・・と点数化し、順位付けした。



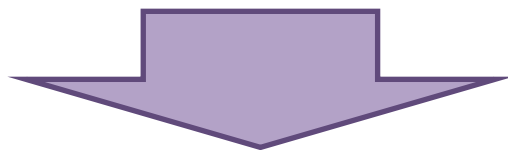
➡ 優先的に維持するべきと考える施設は、利用状況がよい施設であることが分かりました

3. 公共施設の適正配置

多治見市は、公共施設の適正配置を着実に進めていきます

適正配置とは・・・

行政サービスの提供を持続可能なものとするため、真に必要な施設を見極め、公共施設の数や規模を将来の市の人口や財政規模に見合ったものにする取り組み



施設の老朽度や利用状況などの実態を踏まえて、施設ごとに統合・複合化、転用、廃止等の方向性を定め、計画的に実施します（※廃止等には、譲渡や貸与を含む）

3. 公共施設の適正配置

公共施設適正配置基本方針（平成29年8月策定）

適正配置の基本となる考えをまとめました。

公共施設適正配置基本方針

- ①公共施設全体のスリム化
- ②施設（ハコ）重視から機能（サービス）重視への転換
- ③施設の用途や種別、利用圏域などでマネジメント
- ④積極的な公民連携
- ⑤施設（ハコ）の有効活用と予防保全の推進
- ⑥総合計画、行政改革大綱との連動

3. 公共施設の適正配置

①公共施設全体のスリム化

- ◆数値目標を定め、施設の保有総量を圧縮します。
- ◆今ある施設を有効に活用。真に必要な施設以外は新設や建替えは行いません。
- ◆新設や建替えを行う場合は、今ある施設の廃止を進め、保有総量を抑制します。

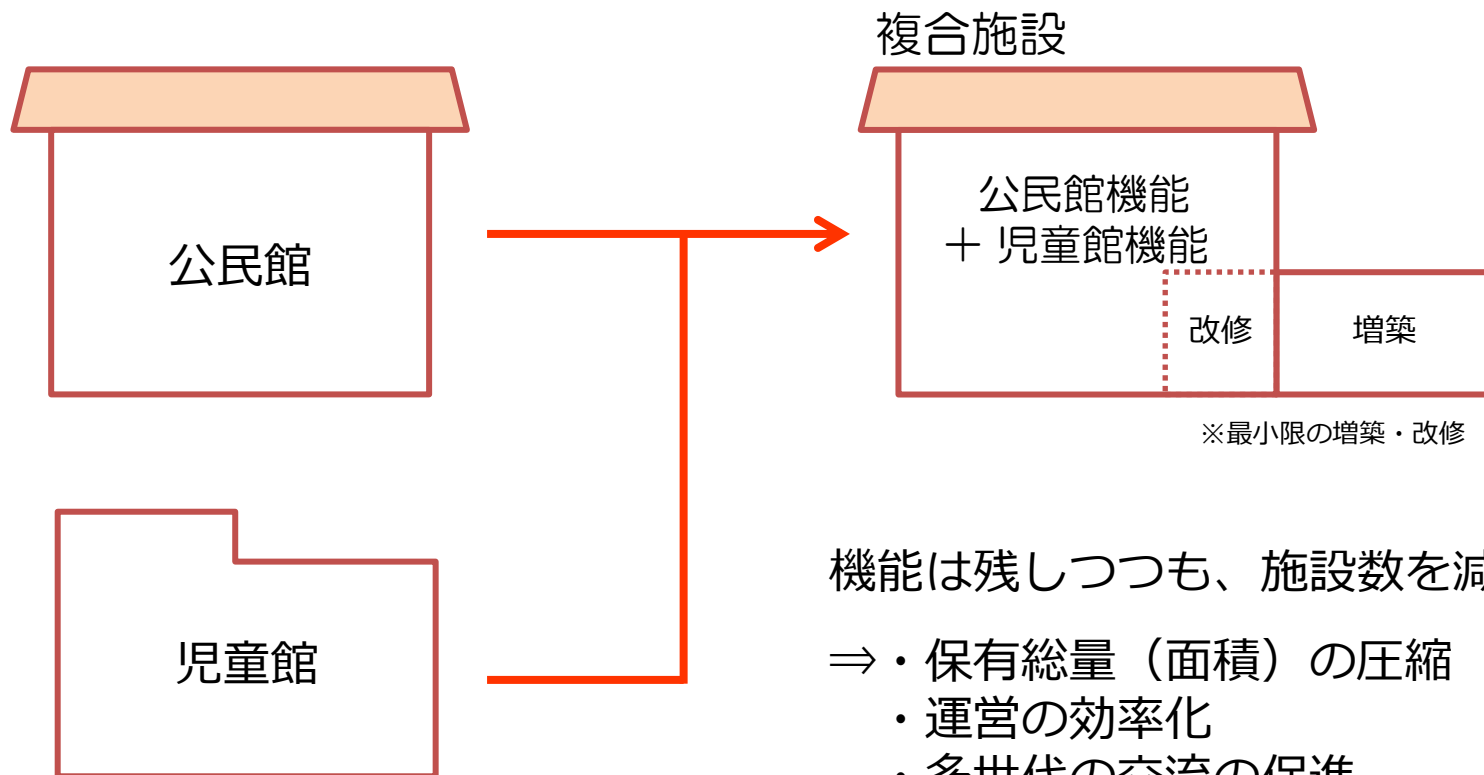
②施設（ハコ）重視から機能（サービス）重視への転換

- ◆施設の種別に関わらず、「一施設＝一機能」から「一施設＝多機能」へ考え方を転換します。
- ◆機能（サービス）を優先し、今ある施設の複合化を推進します。
- ◆新設や建替えを行う場合は、原則、複合施設とします。

3. 公共施設の適正配置

<公共施設のスリム化を図る手法例>

複合化 … 一つの施設に複数の異なる機能を持たせること



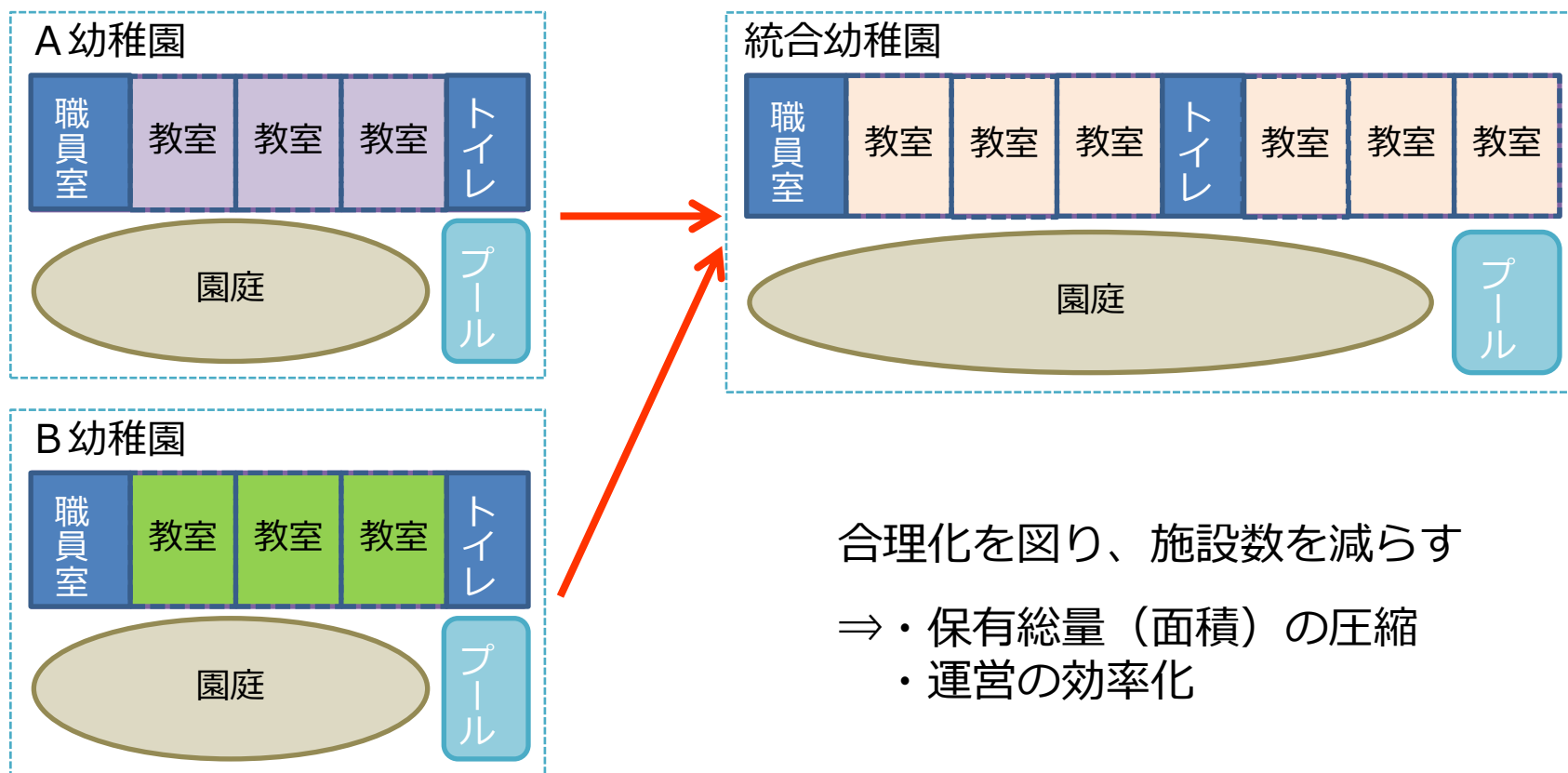
機能は残しつつも、施設数を減らす

- ⇒
- ・ 保有総量（面積）の圧縮
 - ・ 運営の効率化
 - ・ 多世代の交流の促進

3. 公共施設の適正配置

<公共施設のスリム化を図る手法例>

集約化 … 同種の施設を統合し、一体の施設として整備すること



3. 公共施設の適正配置

③施設の用途や種別、利用圏域等でマネジメント

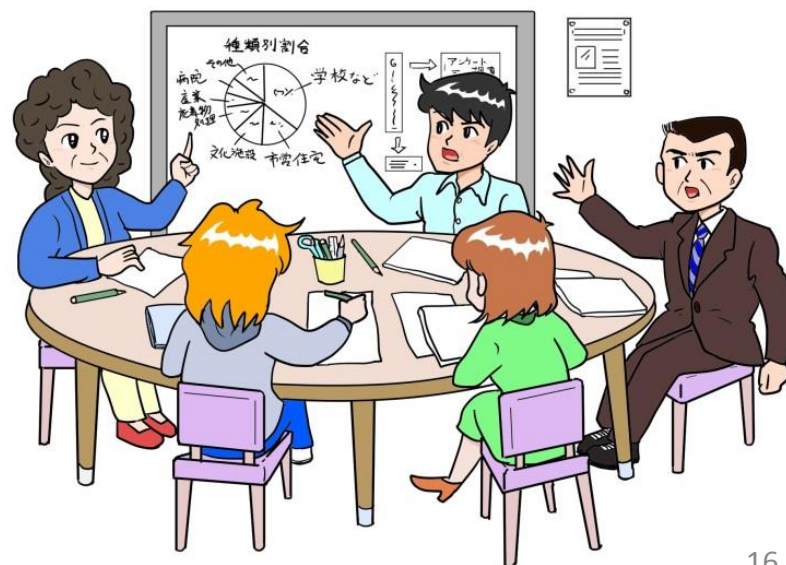
- ◆施設の用途や種別、利用圏域などで整理し、機能優先度を明確にします。
- ◆機能優先度を基に、各施設の方向性（長寿命化、統合・複合化、転用、譲渡、廃止など）を検討します。

※長寿命化：施設をできるだけ長く使い続けるため、計画的に修繕や改修を行うこと。

④積極的な公民連携

- ◆施設の新設や建替えを行う場合は、P P Pなどの方策を検討します。
- ◆施設の運営に当たっては、民間活用や地域・N P Oなどとの連携・協働を図ります。

※ P P P : Pubric Private Partnershipの略。
行政と市民、民間事業者などが連携すること。



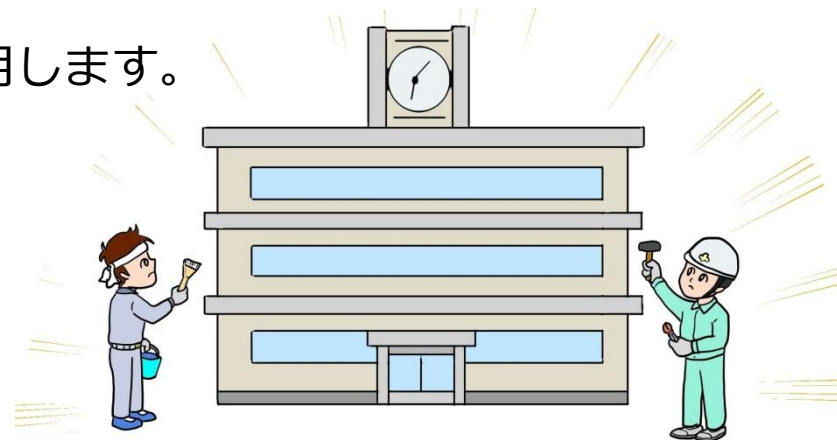
3. 公共施設の適正配置

⑤施設（ハコ）の有効活用と予防保全の推進

◆施設を適正に管理し、できるだけ長く使用します。

◆今後も必要な施設は長寿命化を図り、必要な予防保全を計画的に行います。

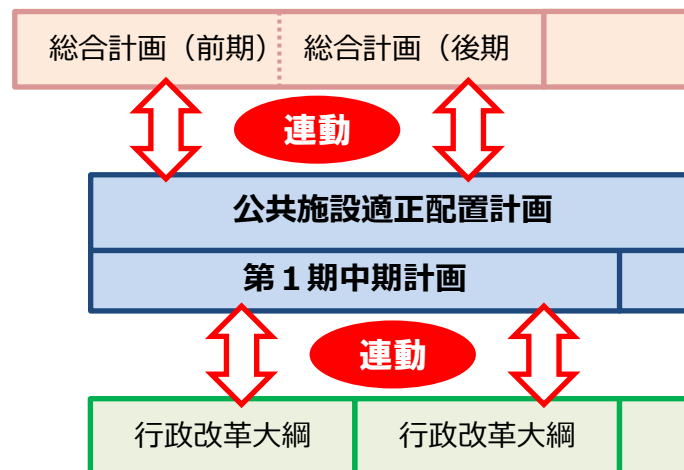
※予防保全：建物や設備に損壊や機能不全が発生する前に、修繕や交換などのメンテナンスを行うこと。



⑥総合計画、行政改革大綱との連動

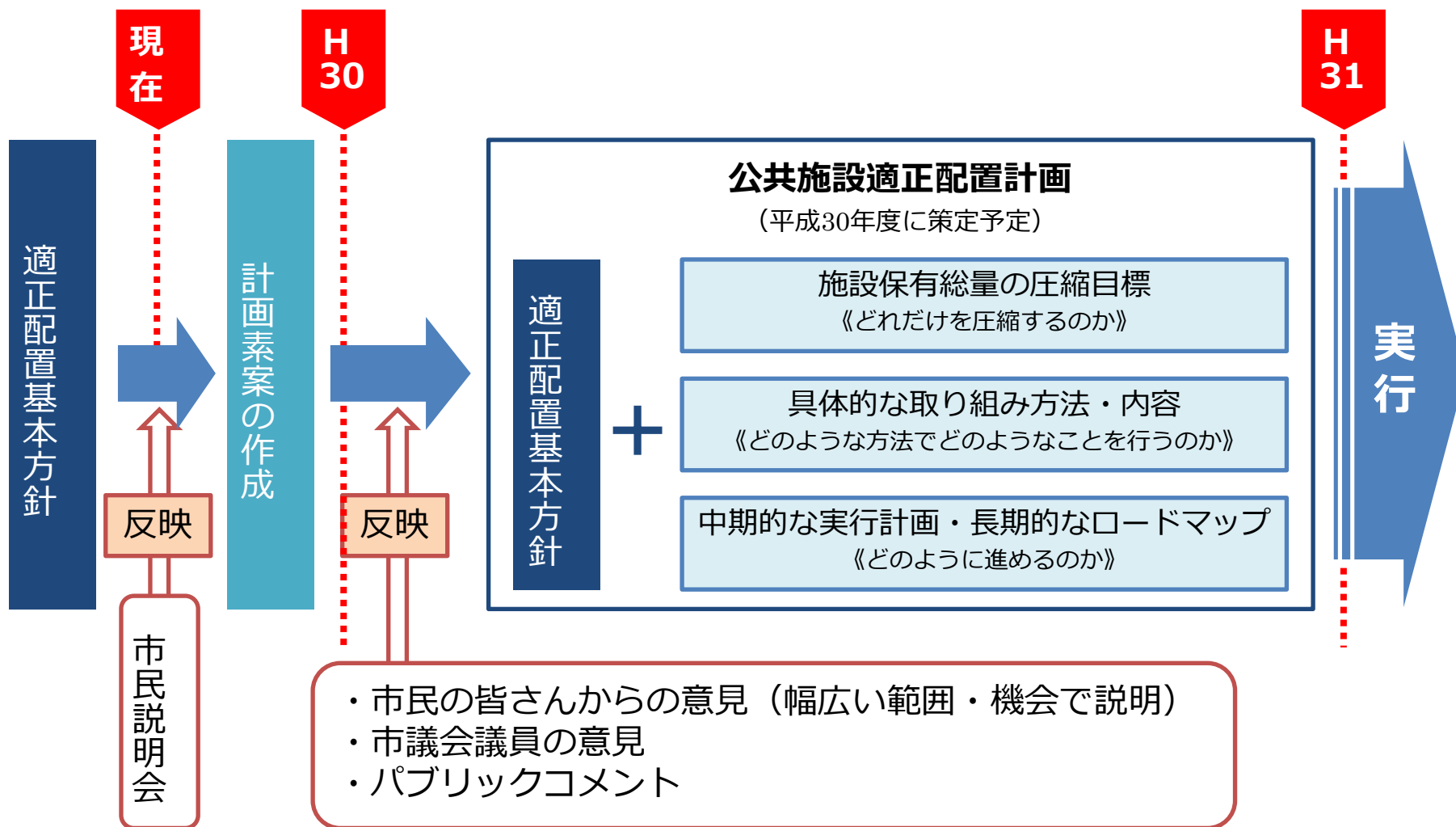
◆市の政策を定める最上位計画である「総合計画」と、市政運営のあり方を見直し質を向上させるための「行政改革大綱」と連動させて実行します。

※適正配置計画の計画期間は40年間とし、8年ごとに中期計画の見直しを行います。



3. 公共施設の適正配置

市民の皆さんのご意見をいただきながら計画の策定を進めます



最後に・・・

みんなで考える、未来のみんなの公共施設



市民の皆さんと共に考え、共に解決していきたいと考えています。
ご理解とご協力をお願いいたします。